

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年5月22日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690100765
法人名	有限会社 コンフィアンス
事業所名	グループホーム はらら
所在地	鹿児島県鹿児島市原良二丁目10番11号 (電話) 099-510-5524
自己評価作成日	平成27年2月22日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成27年4月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

市街地に近く交通の便も良い場所にありながら、静かな環境であり、近隣には小・中学校、保育園、幼稚園、スーパーマーケットやドラッグストア、医療機関が多く立地しています。

開設して3年になりますが、開設当初から自立支援に向けた取り組みに力を入れています。日々の生活の中で、利用者の残存機能を活かし、できることは自分でしていただけるような支援を目標としています。また、残存機能の低下を防止できるような支援の方法を職員全員で模索しています。

事業所全体で、一人ひとりの利用者やご家族の要望に添った生活の実現を目指し、個別性のあるケアの実践を行えるよう、日々の暮らしのお手伝いをさせていただいています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは理念について、管理者や職員で毎年、1年を振り返り、内容について検討し、現状に合う理念を考え作成している。目標達成計画も事業所の問題点や課題の達成状況について話し合い、利用者の自立支援を行っている。
- ・町内会に加入し地域の夏祭りや文化祭・運動会等に参加している。小学生が遊びに来たり、ボランティアの受け入れも行っている。買い物や散歩時の挨拶等、地域の一員として日常的に地域の方々とも交流している。
- ・「身体拘束全面禁止」を掲げて、身体拘束廃止委員会で、毎月、事例を出し、研修を行っている。言葉の拘束についても勉強会を行っている。
- ・緊急時対応の24時間医療連携体制が取れている。
- ・年1回ホテルで利用者と家族と一緒に宿泊して家族会を実施し、懇談の場を持っている。
- ・職員の研修会等への参加奨励や資格への取り組みの支援を行っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	職員全員で1年に1回、年度初めに理念の見直しを行っている。また、理念に基づいたケアを実践していけるよう努めている。	理念について、管理者や職員で毎年、1年を振り返り、内容について検討し、現状に合う理念を考え作成している。目標達成計画も作成し事業所の問題点や課題の達成状況について話し合い、支援を行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域住民の一員として、町内会に参加し、毎月の会合に参加できるように民生委員の方との連携を取っている。また、地域の行事に参加したり、買い物や散歩に出かける等、地域とのつながりが途切れないよう努めている。	町内会に加入し地域の夏祭りや文化祭・運動会等に参加している。小学生が遊びに来たり、ボランティアの受け入れも行っている。買い物や散歩時の挨拶等、地域の一員として日常的に地域の方々とも交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	職員の状況や力に応じて、地域住民への認知症に対する正しい理解をしていただけるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>家族会会長や長寿あんしん相談センター職員等に参加していたが、双方の意見交換ができるよう努めている。また、会議での意見はサービス向上に活かしている。今後は、ご家族へ会議への参加を呼び掛ける予定である。</p>	<p>会議は定期的開催し、事業所の行事や活動状況・利用者の状況・外部評価の報告等を行っている。参加者について、地域関係者や家族など幅広く呼びかけたり、消防訓練を兼ねたり講演の計画等、意見を活かした取り組みを行っている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>分からないことや疑問点は、必ず市に相談し、指導や助言をいただきながらサービスを行い、協力関係を築いている。また、ご家族からの苦情や相談の報告も行っており、その都度助言をいただいている。</p>	<p>市の担当者とは申請書類の提出や相談・サービスの取り組みについて等、直接窓口で話をしている。電話で相談もする等、日頃から連携を取っている。運営推進会議出席の呼びかけや事業所の活動状況を報告しアドバイスを貰っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>委員会を設置し、定期的に勉強会を行っている。また、当施設においては、「身体拘束全面禁止」を掲げており、拘束のないケアの工夫を行っている。</p>	<p>「身体拘束全面禁止」を掲げて、身体拘束廃止委員会で、毎月、事例を出し、研修を行っている。言葉の拘束についても勉強会を行っている。玄関の鍵は日中開放し職員の見守りで自由に出入りできるようにしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	委員会を設置し、定期的に勉強会を行っており、ケアの振り返りを行っている。また、虐待が見過ごされることがないように、職員全員で注意を払っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	外部研修の機会を設け、必要な時に支援を行えるよう準備を行っている。 現在のところ事例はない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時は十分な時間を取り、解りやすく丁寧な説明を心がけている。説明し終えた後には、理解できないとことはなかったか確認を行っている。特に重要な点については、詳しく説明している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者やご家族からの要望や苦情については、その都度記録や報告を行い、職員全員で話し合い改善に努めている。また、意見箱や家族会、運営推進会議等を通して、要望や苦情等を表せる機会を設け、運営に反映させている。	利用者からの要望や意見は日常的にケアの中で聞いている。家族からは「はらら便り」を家族に送付してホームでの活動状況を報告し、意見を聞いている。運営推進会議や意見箱等を通して出された意見や要望等は全職員で話し合い、運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>「気づきシート」にて職員の意見や提案をくみ上げ、リーダー会やフロア会議にて話し合い、運営に反映できるよう努めている。</p>	<p>日常のケアや利用者との関わりなどで感じた事や気づいたものを「気づきノート」に記録し、リーダー会やフロア会議等で話し合いを行い運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者は、管理者や職員それぞれの努力や仕事に対する熱意等の勤務状況の報告を受け、各自が意欲向上に向かえるような職場環境の整備に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>内部研修計画を立て、定期的に勉強会を行っている。また、職員の経験や役割に応じて、外部研修参加の機会を設けている。外部研修に参加した職員は、フロア会議にて報告を行い、職員間での研修内容の共有に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>代表者は、管理者や職員がGH協議会や運営推進会議等への参加を促し、同業者との交流や情報交換等を行い、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス利用について相談があった場合は、事前面談として本人にお会いして、生活状態、心身の状況、本人の思い等に向き合い、受け止めることができるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初めてサービスの利用相談に来られた際は、最初から利用の相談を進めていくのではなく、ご家族とのコミュニケーションを大切にし、ご家族の困っている事や不安な事、今までのサービス状況等をゆっくり聞くように努め、その上で相談に繋げている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時、本人やご家族の思いや状況等を確認し、ゆっくりと話しを聞いた上で必要なサービスを提供できるように努めている。必要があれば、他事業所とも連携をとれるようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食事の支度や洗濯等、家事全般にわたってできることを一緒に行えるように声かけを行っている。また、年配者の知恵や昔の習慣等、分からないことはお聞きするようにし、共に支え合う関係を築いていけるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	状態報告を密に行い、ご家族との情報交換を行いながら信頼関係を築いている。必要時は、面会や外出をお願いし、ご家族との関わりが薄れることのないように支援を行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所を把握するよう努め、関係が途切れる事のないように、電話や手紙等でいつでも連絡がとれるよう支援を行っている。また、希望される時は、行きたい場所へお連れできるよう努めている。	馴染みの関係がとぎれないように、事前に利用者や家族から情報を得て支援している。自宅訪問や馴染みのデパート・マーケット等に出かけている。電話や手紙等も支援を行っている。家族と墓参りや美容室に行き、行きつけの店で外食したり買い物をしている。親戚や知人の面会に居室でお茶を出して話しをしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士が支え合って暮らしていけるように、職員は利用者それぞれの習慣や性格を把握し、ホームでの生活が孤立せず、日々の生活の中で助け合い関係ができるように、職員が間に入りながら支援している。必要時には、席替えや居室の移動等も行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も、関係機関と連絡を取ったり、面会を行う等し、必要があればフォローを行う旨を、ご家族や本人に伝えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	職員全員が、利用者が思いや意向等を言いやすい関係を築けるよう努め、日々の関わりの中で本人の思いや意向をくみ取り、情報を共有している。また、意思疎通が困難な場合でも、本人の立場になり検討している。	利用者一人ひとりの思いや希望・意向を入浴時などリラックスしている時の会話等で「気付きシート」や介護記録に、利用者の言葉を記録している。意思疎通の困難な利用者は表情やしぐさから思いを読み取ったり家族から聞いたりして支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用開始の際、情報提供書による把握や、ご家族や関係者から本人独自の生活歴やライフスタイル、個性や価値観等を聞き取り、これまでの暮らしの把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居前の情報を関係者から詳しく聞き取り、入居後は心身状態の変化を見逃さず、現状を総合的に把握するよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の生活の中で、より良い生活を送れるよう課題について議論したり、フロア会議や担当者会議にて意見を出し合い、検討している。また、主治医や訪問リハビリの先生からもその都度アドバイスをいただいている。それぞれの意見は、介護計画に反映させている。	介護計画担当者が個別に利用者や家族から情報や職員の記録やミーティングなどで収集して介護計画を作成している。モニタリングを定期的に行い、本人・家族・主治医・関係者等と話し合いを行っている。状況変化の場合はその都度見直をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録にて、心身状況や日々の暮らしの様子、本人の言葉やエピソード等を記録に残すことで職員間の情報共有や介護の見直しができるようにしている。また、朝夕の申し送りや業務開始の日志の確認を徹底している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人やご家族の要望に応じて、通院や外出の支援を行ったり、また状況に応じて面会時間を合わせ臨機応変に対応するなどし、個々の利用者のその時々に必要な支援に柔軟に対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	必要に応じて、地域資源との協働や交流に努めている。徐々に地域資源の把握や協働ができてくる。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前のかかりつけ医を確認し、ホームの協力医や訪問診療を行う病院の説明を行った上で、納得のいくかかりつけ医の選択ができるよう支援を行っている。医療機関とは、24時間体制で相談・報告を密に行い、信頼関係を築いている。	本人や家族の希望するかかりつけ医に受診の支援を行っている。協力医の往診もあり、緊急時対応も24時間医療連携体制が取れている。日常の受診や各専門医の往診は職員が対応している。主治医との連携を取りながら適切な医療が受けられるように支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週に1回の訪問看護に加え、ほぼ毎日看護師の訪問があり、かかりつけ医にとられず、全利用者の体調不良等に対応していただいている。訪問看護師には、全利用者の状態を毎日報告しており、特変時には、24時間体制で連絡・相談を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院となられた際は、安心して治療が行えるように情報提供を行い、ソーシャルワーカーと連携を取りながら、早期退院と適切な治療が受けられるように努めている。また、関係作りの為に、病院への定期的な訪問も行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居の際、ご家族に重度化した場合や終末期の在り方についてホームの方針を説明した上で、「終末期における意思確認書」を取り交わし、互いの方針の共有を行っている。また、かかりつけ医にもご家族の意向を伝え、心身状態の変化に備えている。	入居時に、事業所としての重度化・終末期・看取りについての対応の指針を説明している。重度化と共に早い段階で再度説明をして家族の同意をもらっている。主治医との連携も取り利用者や家族・職員と話し合いを行い、意見を共有し支援を行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	内部研修にて、定期的な勉強会を行い、利用者の急変時等に対応できるよう努めている。また、急変時の対応が適切であったかどうか、その都度見直しを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署の協力のもと、夜間想定も含めた消防訓練を定期的に行い、全職員が災害時の避難誘導への対応ができるように努めている。また、近隣の民生委員さんを中心に、地域住民の方々の協力もお願いしている。</p>	<p>消防署の立会いのもと、消防訓練を昼夜間想定で行っている。災害時の避難誘導や避難経路についても確認して全職員が対応できるようにしている。職員の連絡網や地域住民への連絡等も協力依頼ができています。緊急通報装置やスプリンクラー・消火器その他防災器具がある。災害時の水や食料等の備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉遣いや声かけに際しては利用者の尊厳重視に努め、職員の意識向上や具体的な対応方法についてはフロア会議や勉強会において研鑽を積んでいる。また、個々の利用者の人格の尊重やプライバシーの確保については、その都度確認を行っている。	職員は研修・会議の中で利用者の尊厳重視やプライバシーの確保等について研鑽し、言葉使いや声かけ等を行っている。日常生活の安定感と自信がもてるように配慮したり、個人の自由や好みを大切に本人の主体的な決定ができるように支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日課を優先せず、本人の希望をお聞きし、希望に添えるように努めている。また、日々の支援の中で自己決定できるような場面を多く作れるよう声かけや雰囲気作りを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはあるが、時間を区切った過ごし方はせず、個々の利用者の心身状態に配慮しながら本人の気持ちを尊重して、出来る限り個別性のある支援を行うよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人の状態に応じて、衣服の選択やカット・パーマ・カラー等、その人らしい身だしなみの支援ができるように努めている。また、ご家族の協力のもと、化粧品の依頼や購入も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者の状況や特性を考慮し、買い物・調理・盛り付け・片づけ等を一緒に行う事が出来るように声かけを行っている。また、定期的な外食やデリバリーを行い、食事が画一的にならないような工夫を行っている。</p>	<p>利用者の力量に合わせて、近くの店に買い物に出かけたり、調理や盛り付け・片付け等を職員と一緒にしたり、会話を楽しみながら食事をしている。水族館等に出かけた折に外食で好みの物を注文している。季節の食材を使ったり、誕生会などの献立も工夫している。</p>	
41	-	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>健康状態や疾患等を把握し、その日の状態に応じた食事や水分の提供を行っている。また食事・水分摂取量を記録し、必要に応じて栄養補助食品や経口補水液等の提供を行っている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後の歯磨きの声かけを行い、利用者の状態に応じて介助を行っている。また、年1回は歯科検診を行っており、利用者の状態変化があれば、協力歯科医に相談し、助言をいただいている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者の状態に応じた排泄の支援に努めており、日々の状態の変化にも臨機応変に対応している。また、排泄の自立に向けて、夜間のトイレ介助やおむつの種類の変更等も行っている。	利用者の排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行っている。オムツから布パンツに移行した利用者がいる。利用者の心身の状況を把握し排泄の失敗が少なくなるように観察力や声かけ・誘導を支援している。便秘や下痢など改善が必要な場合は、疾患の把握や食材の摂取の仕方、乳酸菌の補食などの工夫もして体調コントロールを行い自立に向けて支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防の為、水分補給や適度な運動を行うよう努めている。また、毎食事の献立にも工夫している。毎日の排便確認により、便秘傾向にある利用者に対しては、かかりつけ医に相談を行い、状態に応じた内服の調整を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本的に週3回であるが、個々の体調や希望に合わせた時間や曜日の調整を行っている。また、一人ひとりに合った入浴介助の支援を行っている。	入浴は週3回を基本にしているが、利用者が入浴を楽しめるよう、いつでも入浴ができるように準備している。家族と外出して温泉に入る利用者もいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の活動を促し、生活リズムを整えることで、休息や安眠の確保ができるように努めている。また、その日の体調に応じて、個別に配慮を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全職員が利用者一人ひとりの服薬の内容を把握できるよう、服薬説明書を常設している。また、内服の変更や臨時薬が処方された時は、症状の変化の確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家事の手伝いや季節の行事等、利用者の知恵や経験を発揮できる場面を作れるよう努めている。また、外食やドライブ、誕生日会等気分転換や楽しみ事の支援も毎月の計画に取り入れている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	本人の体調や希望に応じて、日常的に散歩や買い物、ドライブ等の機会を作り、心身の活性に繋がるよう努めている。また、状況に応じて、ご家族の協力をいただきながら、外出の支援を行っている。	日常的に近隣の散歩や買い物等に出かけている。その日の希望を聞いて水族館に行ったり、ソーメン流しや花見等、行きたいところがあれば、ドライブで楽しんでいる。家族の協力ももらいながら花見や外食・墓参り・受診等にも出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人が希望される場合は、お金を所持できるよう支援を行っている。また、そのお金を遣えるよう個別支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人やご家族が希望される場合は携帯電話の所持や使用を支援している。また、本人の希望に応じて、電話をかけたり手紙を書いたりできるよう支援を行っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>台所には仕切りがなく、利用者が自由に出入りできるよう配慮している。また、調理の音や匂いを感じながら、家庭的な雰囲気ですることができるよう支援している。清潔や室温・湿度にも気を付け、居心地良く過ごせる空間を作っている。季節に合わせた作品の掲示等も行っている。</p>	<p>共用空間は大きな窓があり明るい。対面式のキッチンには職員が見守りながら食事の準備をして音や匂いが温かく感じられる。室温や湿度にも配慮されている。季節の花があり、利用者の作品を飾り、居心地良く過ごせる工夫がされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用空間にはソファや椅子を置き、独りになったり、利用者同士で会話をしたりと、その時々気分に応じて好きな場所で過ごせるように配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>個々の利用者の馴染みのものを持ってきてもらえるようご家族にお願いしたり、生活スタイルや本人の要望に応じて、必要なものを職員が用意する等して、本人が居心地良く過ごせるように努めている。</p>	<p>居室は利用者と家族が話し合っ て自宅で使っていた家具や時計・椅子・テレビ等を持ち込み、利用者の馴染みの品や家族写真・仏具等を置き、本人が居心地良く過ごせるよう工夫がされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室、玄関、ホールやトイレ、浴室等の住環境においては、利用者が安全で自立した生活を送れるように、その時々状況の変化に臨機応変に対応しながら職員で話し合い環境整備を行っている。また、安全かつ自立した生活が送れるよう利用者の状態に合わせ環境整備を行っている。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない